

創造力育む場、どう与えるか



ほそがいかずのり 1953年雲南市大東町生まれ。株式会社光和インターナショナル代表取締役。大手業務用ソフト開発・経営コンサルティング会社を経て、2003年に同社設立。05年から現職。

言語活動推進フォーラム開催記念特集 育てよう 子どもたちの創造力 ことばの力

対談 × 文字・活字文化推進機構 肥田美代子 理事長
光和インターナショナル 細貝和則 社長 (雲南市出身)

絵本の読み語りなどを通じて子どもたちの情緒と感性を育む、言語活動推進フォーラム「ことばを感じようin松江～ことばの力 未来をつなぐ～」(国立青少年教育振興機構、文字・活字文化推進機構主催、山陰中央新報社共催、光和インターナショナル特別協賛)が9月12日、松江市のくにびきメッセで開かれる。フォーラム開催を機に、子ども向けのお絵かきシートなどを製造・販売する光和インターナショナルの細貝和則社長と文字・活字文化推進機構の肥田美代子理事長が対談。お互いの取り組みや理念を語り合うとともに、活動の共通項である「子どもの創造力」について意見を交わした。(聞き手は山陰中央新報社東京支社長・藤井満弘)



ひだ・みよこ 1941年大阪市生まれ。公益財団法人文字・活字文化推進機構理事長。童話作家。参議院議員、衆議院議員を経て2007年から現職。著書に「ゆずちゃん」(ポプラ社)など。

「『コーワライティングシート』の製造、販売などを手掛けています。03年の設立以来、『あらたな文化の創造とソリューションの提供』を理念に掲げ、デジタルからアナログへの回帰に挑戦しています」

「企業の世界では文字を書き、表現することから商談が始まります。このため、『ことばの力』が結果を左右すると言っても過言ではありません。そうした中、言語活動推進をうたうフォーラムの趣旨に賛同できずにはいられず、一緒に進んでいきたいと思いました」

「フォーラムのテーマである『子どもたちの創造力を育む』ために重要なポイントは何でしょうか」

肥田「お母さん方にお願しているのは、小さくてもいいの

「家庭に子ども用の本棚を置いてくださるということ。小さい頃から絵本の読み語りを行い、読書習慣を自然に身に付けさせてあげてほしいのです」

「培った読書習慣は子どもたちが小学校、中学校、高校、大学と進学するにつれ、必ず生きてくるからです。読書体験で得たものは人生を生きぬく力となります。お父さん、お母さん方や学校の先生は、日頃から本を読む姿勢を子どもに見せてほしい」

「光和インターナショナルが扱っておられる子ども向けのお絵かきシート『ピタッとand(アンド) かきけし〜』は子どもの創造力アップに役立ちそうですね」

細貝「我が子が幼少の頃は、自宅の庭に仲間と会話をしながら色々なことを書き込むことで創造力を育むことができ、今に至りてはそうした機会が少なくなり、小さなノートに1人で黙々と書くくらいしかありません。子供に環境を与えることが大人の役目であると考え、コーワライティングシートをホームページに紹介し、子ども向けの商品を作ることにしました」

「商品をご覧になれば分かりますが、子どもたちの創造性や未来を拓くデザインを顕彰する国の『キッズデザイン賞』を受賞しました。大企業をはじめた皆さんの応募がある中、今の子どもたちにはこの商品が必要なんだ、という我々の思いが受賞につながったと思っています」

「光和インターナショナルの取り組みは機構としても共感される部分があるのではないでしょ



「かきけし〜」を手に、活用のアイデアを話し合う肥田理事長(左)と細貝社長＝東京都千代田区、文字・活字文化推進機構

「『物を作って世の中に出し、喜んでいただくことが我々の目標であり、夢でした。それが今、目的が変わり、自分たちがやっていることが形に残ること、どういふことですか、やりがいがあります。今後も生きる上で重要な知恵を養い、創造力を育む環境を子どもたちに与え続け、後世に足跡が残る仕事をしたいと考えています」

肥田「機構設立から10年近くなり、読み、書き、話す、聞くという分野の活動はかなり進めることができました。今後、デジタル社会の中で『考える人』をどう育てていくかが課題ですが、『かきけし〜』のような楽しい商品を通じた取り組みに可能性を感じていますし、とても期待しています」

「今日はありがとうございました」

「『物を作って世の中に出し、喜んでいただくことが我々の目標であり、夢でした。それが今、目的が変わり、自分たちがやっていることが形に残ること、どういふことですか、やりがいがあります。今後も生きる上で重要な知恵を養い、創造力を育む環境を子どもたちに与え続け、後世に足跡が残る仕事をしたいと考えています」

肥田「機構設立から10年近くなり、読み、書き、話す、聞くという分野の活動はかなり進めることができました。今後、デジタル社会の中で『考える人』をどう育てていくかが課題ですが、『かきけし〜』のような楽しい商品を通じた取り組みに可能性を感じていますし、とても期待しています」

「今日はありがとうございました」

注目集める「光和」の製品

企業概要
2003年7月に創業。シートやライティングシートを活用したメディア事業を軸に、温熱パッドや健康食品を取り扱うヘルスケア事業、断熱材「ワイルド」を活用した製品開発、企業コンサルティングや基幹業務システム構築などを手掛ける。資本金2000万円、従業員数20名、年間売上は約5億2000万円(14年)。

所在地
東京都港区西新橋3-23-5
御成門郵便ビルディング12階

電話
03・5777・4478

URL
http://www.kowacorp.jp

企画・制作 山陰中央新報社



東日本大震災の復興支援の場で活用されるコーワライティングシート

利便性の高いアイデア商品で、行政や企業から熱視線を集める光和インターナショナル。その「2本柱」のひとつが、強い粘着力と耐久性を備えた装飾用印刷シート素材「コーワシェルシート」だ。ヤモリの足裏をヒントに開発したという、分子間力を利用して簡単に貼りができる。はがしあとも残らないため、施工時間短縮や費用軽減のメリットがある。ピルのガラス窓や商業施設の床、車のボディなど様々な素材にフィットし、装飾や広告媒体として利用される。

もう一方の「コーワライティングシート」はホワイトボードのように書き消し自在なシート。静電気の力で様々な素材に貼り付けられ、会議から子どものお絵かきイベントまで、幅広く活躍している。東日本大震災においては、避難所や病院の伝言板として利用されたほか、救助・復興作業にあたる団体の作業ボードとしても活用された。

近年は海外向け業務の増加に伴い、アジアやアセアン諸国などに製造拠点を設置。国内でも細貝社長の故郷の雲南市に工場を構える。細貝社長は「中小企業が今後生き残る上で、グローバルな視点は重要だ。島根にも起業を志す人は多いはず。故郷を背負いながら、世界に挑み続ける姿勢を自分が見せたい」と力を込める。



お絵かきイベントで透明シートに落書きする子どもたち



書いたり消したり! いろいろ使える!

島根発! 話題沸騰の注目商品

ピタッと and かきけし〜と PITTATO KAKIKESAITO

静電気で貼りつくから壁やガラスがホワイトボードになっちゃう!

シートの使い方

- 消したい時は、ウェットティッシュをご使用ください。
- 接着剤を使用していないので、サツとはがせて、ポイッと可燃物で捨てられます。
- 透明タイプのシートもあります。
- 机に貼れば、大きなキャンバスに早変わり!

第8回(2014年)キッズデザイン賞受賞

1,180円(税抜き)

購入のお問い合わせ
Tel.03-5777-4478 (平日9:00~17:30)
Fax.03-5777-4475

当社ホームページ、または今井書店グループセンター店(松江市田和山町)でもお買い求めできます。

◎ママのメモ用に! (冷蔵庫に貼ったり...)
◎お子様とパパママの伝言用に! (ドアに貼ったり...)
◎お子様の落書きをデジカメでパチリ! etc.

●シート素材: ポリプロピレン
●サイズ: 30cm×40cm (1シート)
●内容量: 10シート入り
●色: ホワイト、透明